

公益財団法人南砺幸せ未来基金 令和元年度 事業報告書

I 概要と主な成果

令和元年度は、法人設立の2ヵ年目にあたり、平成30年度より引き続き、豊かで特色ある「地域資源」を活かして地域課題の解決を目指す、多様な主体及びその取組みを市民自らが支える仕組みを構築すること、循環共生型の社会づくりに貢献するため「未来資本」を創出することを目指し活動に取り組んだ。

(なお、年度途中で公益認定を受けたが法人の目的は変わらないので事業報告はまとめた。)

特に、令和元年度は、以下の5点を重点事業と位置づけ、取組みを進めた。

1. 基金の普及啓発と運用資金の調達

安定した基金運営を行うために、基金の設立趣旨や運用目的などを広く普及啓発を行うことで市民の理解度を高め、運用資金となる寄付金や遺贈金の調達につなげるために次の活動を実施した。

①イベント等での普及啓発

- ・ 6月22日、23日 シルクロード・ネットワーク・南砺フォーラム2019にて「南砺幸せ未来基金」の事例紹介
じょうはな座、参加者およそ40名
- ・ 7月28日 ローカルサミットNEXT in 南砺プレイベント&南砺まちづくりビジョンフォーラムにて話題提供
南砺市クリエイタープラザ桜クリエ、参加者およそ50名
- ・ 10月26、27日 令和元年ローカルサミットNEXT in 南砺にて南砺幸せなSDGs 志民憲章の提案
城端別院善徳寺(26日)、じょうはな座(27日) 参加者のべ300名
- ・ 3月20日 第1回公益財団法人南砺幸せ未来基金ミーティング開催
タイトル「一流の田舎」を目指す共生社会の未来に向けて
アスモ2F大会議室 参加者およそ40名

②広報活動について

ホームページ(ecoto.jp)、SNS(facebook)によるPRを行った。

また、公益認定を受けたことを機に当基金を紹介するためのパンフレット、寄付金控除・遺贈の仕組みをわかりやすく記した冊子、チラシの作成を行った。

3月4日には、当基金の公益化の報告、支援事業の開始を記者発表した。

③訪問による基金運用の説明

3月、当基金の設立準備会より寄付集めに尽力いただいた方を中心に、公益認定の報告及び今後の事業展望、案件発掘について訪問を行った。

2. 基金の公益法人化

令和元年9月20日、富山県文書総務課に公益認定申請書を提出。

同年11月25日、第44回富山県公益認定等審査会（富山県民会館509号室）にて公益認定を承認する旨の答申。12月1日付けで公益認定。

なお、当基金の所管課は、富山県総合政策局地域振興・中山間対策室地域振興課地域振興担当となる。

3. 基金運営のノウハウの蓄積

5月9日、北陸財務局、北陸銀行とクラウドファンディング、ふるさと納税の活用について意見交換を行った。

年度内に6回の事務局会議、9回の業務執行理事会を開催し、組織運用体制の協議（事務局会議、業務執行理事会、理事会・評議員会の位置づけの確認）やクラウドファンディング（プラスソーシャルインベストメントのentry）の実装、地域通貨（飛騨信用組合のさるぼぼコイン）の研究等に取り組んだ。

業務執行理事会では、城端地域の古民家活用による民藝館の可能性についての研究、井波地域にある井波美術館の活用の研究に取り組んだ。（いずれも諸事情のため案件組成までは至らなかった。）

休眠預金活用については、5月21日に名古屋市で開催された休眠預金活用公募説明会に、事務局員2名が参加。令和2年度の応募に向けて研究を進めている。

また、愛媛県西条市で11月15日に開催された、西条市ローカルファンド研究会に業務執行理事2名が参加し、当基金の事例発表、意見交換を行った。

4. 事務局体制の整備と充実

当基金の事務局体制を充実させるため、臨時の従業員を1名雇用した。なお、令和2年度も雇用を継続した。

また、当基金の事務所を、南砺市山見1739番地2 アスモ2F なんと未来支援センター内に設置した。（令和2年4月1日より開設）

事務所には、臨時従業員1名が火～木曜日まで勤務する体制とした。

中間支援組織「(一社)なんと未来支援センター」と相互に会議、打合せへ出席し情報共有を深めた。

人材育成の面では、南砺市が開催したファンドレーザ育成プロジェクト（6回シリーズ）に業務執行理事1名、事務局から2名が参加。寄付金集めの手法（ファンドレイ

ジング) を学んだ。

さらには、当基金の5ヵ年ロードマップを作成し、目指す方向、やるべき事、数値目標の「見える化」を行った。

5. 基金活用事業の募集と支援の研究

地域課題解決に寄与すべく、支援事業「令和2年度第1回南砺幸せ未来基金頑張る人・地域応援事業」の募集要項を策定した。

また、審査選考委員会設置要綱を策定し、募集のあった案件に対する審査選考体制を構築した。

「令和2年度第1回南砺幸せ未来基金頑張る人・地域応援事業」は、令和2年3月1日～4月30日の期間で募集を行った。

II 運営に関する実績

1 寄付金の状況

7件 132,175円

(一般財団法人として 4件 42,300円、公益財団法人として 3件 89,875円)

2 会議状況

(1) 業務執行理事会

会議名	日時	内容
第1回業務執行理事会	4月17日	平成30年度事業報告及び収支決算について 平成31年度事業計画について 南砺幸せ未来基金ロゴマークについて ローカルサミットNEXT in 南砺について
第2回業務執行理事会	5月15日	平成30年度事業報告について 平成30年度貸借対照表及び正味財産増減計算書について 令和元年度事業計画について 令和元年度収支損益予算書について 令和元年度事業スケジュール 支援事業審査選考委員会 ローカルサミット in 南砺、プレイベント
第3回業務執行理事会	6月12日	公益財団法人化について 休眠預金について 支援事業選定委員会について

		地域通貨について クラウドファンディングについて 城端地域の民藝館について ローカルサミット&まちづくりビジョンフォーラム について
第4回業務執行理事会	7月24日	城端地域の民藝館について 公益財団法人化について SDGsによる基金運用体制について ローカルサミット&まちづくりビジョンフォーラム について
第5回業務執行理事会	9月13日	城端地域の民藝館について SDGs推進事業について
第6回業務執行理事会	10月21日	公益認定申請について 事務局体制について
第7回業務執行理事会	12月13日	公益認定申請の結果について 今後の事業計画、事務局体制について 井波美術館について
第8回業務執行理事会	1月17日	支援募集要項等（審査選考委員会設置要綱、スケジ ュール） シンポジウムの開催について マスコミ発表について
第9回業務執行理事会	2月14日	シンポジウムの開催内容について 理事会の開催について

(2) 理事会

会議名	日時	内容
第1回理事会	5月15日	平成30年度事業報告について 平成30年度貸借対照表及び正味財産増減計算書に について 令和元年度事業計画について 令和元年度収支損益予算書について 令和元年度事業スケジュール 支援事業審査選考委員会 ローカルサミットin南砺、イベント
第2回理事会	8月23日	公益認定申請について 臨時評議員会の開催及び目的事項の決定について

第3回理事会	2月14日	令和2年度事業計画（案）について 令和2年度収支予算（案）について 審査選考委員会設置要綱について 令和2年度南砺幸せ未来基金 頑張る人・地域応援 事業募集要項について
--------	-------	--

(3) 評議員会

会議名	日時	内容
第1回評議員会	5月15日	平成30年度事業報告について 平成30年度貸借対照表及び正味財産増減計算書に について 令和元年度事業計画について 令和元年度収支損益予算書について 令和元年度事業スケジュール 支援事業審査選考委員会 ローカルサミット in 南砺、プレイベント
臨時評議員会	8月23日	公益認定申請について 定款の一部変更及び理事、監事及び評議員の報酬等 の支給の基準について

(4) 監査の実施

令和元年5月14日、監事（2名）が平成30年度の監査を実施し、監査報告書を作成した。

(参考記載)

事務局会議（*定款に定めはないが、業務執行理事会の議題の整理・調整のため実施したもの）

会議名	日時	内容
第1回事務局会議	5月10日	審査委員会について スケジュールについて 休眠預金活用について
第2回事務局会議	6月6日	公益認定申請について 休眠預金活用について 支援事業選定委員会（要綱、委員会）について 地域通貨の検討（さるぼぼコインヒアリングなど） 城端地域の古民家に関するクラウドファンディング について ローカルサミットについて

		シルクロードフォーラムについて 寄付者の謝礼と基金運用の説明について（南砺市職員OB会にむけて） 国補助事業の検討
第3回事務局会議	7月19日	審査選考委員会設置要綱（案）について
第4回事務局会議	11月28日	基金となんと未来支援センターの関係性について 事務局体制について 業務内容の役割分担と人材育成について 体制整備と案件発掘について 具体的な事業計画について 設立時オーナーへの協力と連携について 支援事業の募集と資金調達の依頼について ガバナンスについて 基金と支援センターの事業計画やスケジュール感の共有について
第5回事務局会議	12月11日	5ヵ年ロードマップについて
第6回事務局会議	12月25日	5ヵ年ロードマップについて プレスリリースについて SDGs補助を活用した支援について 相談窓口の開設について シンポジウムについて 不動産取得税・遺贈等の非課税についての調査結果

3 寄付者の名簿作成

平成30年度に引き続き、寄付者の名簿を整備した。

4 受託事業

南砺市より地域課題解決や資金循環に資する取組みを進める目的の業務委託を受託している。

（1）南砺幸せ未来基金事業実施体制構築業務委託

契約額 1,628,000円

期間 令和元年11月2日～令和2年3月31日

内容 事務局業務を遂行するための従業員の雇用
体制強化に関すること
支援内容の告知に関すること

(2) 説明会等開催委託業務

契約額 858,000 円

期 間 令和2年1月11日～令和2年3月31日

内 容 説明会開催

地域通貨研究

5 他機関等の連携

特に、以下の団体と連携し事業を実施した。

連携団体

- ・南砺市
事業の受託、事務局業務
- ・(一社) なんと未来支援センター
地域課題解決に向けた情報共有、連携
- ・(一社) 場所文化フォーラム
令和元年ローカルサミットNEXT in 南砺の開催